

創刊号（平成 28 年 11 月 15 日）

登別市史編さんだより

登別市総務部総務グループ

市史編さん担当 千葉・更科・玉田

〒059-8701

登別市中央町 6 丁目 1 1 番地

Tel 0143-85-1130

Fax 0143-85-1108

登別市史編さんだよりの発行にあたって

登別市長 小笠原 春 一



日頃より市政の推進に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、現在、郷土・登別に対する市民の理解と関心を深め、今後のまちづくりに資することを目的に、郷土に関する有形無形の歴史資料を収集し、先人の足跡を長く後世に継承する市史編さん事業の取り組みを本格化させています。

市史の編さん事業は、行政だけ、あるいは一部の市民だけで行い得るものではなく、幅広い市民や団体、企業のご協力と、皆様から提供いただく豊富な情報や資料があって初めて内容が充実し、市民の皆様が親しまれる市史が完成するものであります。

そのため、市民の皆様には、新しい市史の完成に向けて資料や情報の提供などについて積極的に参加していただき、新しい市史の完成を目指していきたいと考えておりますので、平成 32 年度の刊行に向けてご協力をお願いして、「登別市史編さんだより」発行の挨拶といたします。

市民の皆様には、よろしく申し上げます。

登別市史編さん委員会委員長 街道 重昭

このたび、市史編さん委員会委員長を仰せつかりました。大役が務まるかどうか不安と戸惑いでいっぱいですが、任務を全うし、立派な新市史になるよう努力したいと考えております。

本市には、すでに「登別町史」と「市史ふるさと登別」が刊行されております。これから取り組む新しい市史は、それから流れた 35 年の歳月をしっかりと見つめたものでなければなりません。また、「登別」というまちの未来を展望できるものでありたいと願っております。その中で、今回の市史編さん委員会委員に、市町村史編さんの泰斗、関秀志先生を委員のお一人としてお迎えできたことは、私たちの大きな喜びです。

市史の編さん事業は、市民に開かれたものであることは大切なことだと思います。そのため、事業の進捗具合を「編さんだより」として発行し、市民に定期的にお知らせすることで、それが情報交換の場となることなどを願っております。ご協力、ご支援をお願いします。



第1回登別市史編さん委員会を開催

8月24日（水）、市役所で第1回登別市史編さん委員会を開催しました。

当日は、副市長から各委員に委嘱状を交付した後に会議に移り、委員長・副委員長の選任、委員の自己紹介、新しい市史の刊行までのスケジュール、諮問を受けた編さん方針案・執筆要領案について活発な意見交換を行いました。



会議の協議概要については、市ホームページで公開しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

市史編さん委員会委員を紹介します。

職名	氏名	略歴
委員長	街道 重昭	登別市文化財審議会委員長、登別郷土文化研究会副会長
副委員長	熊野 正宏	登別文化協会会長、元登別市議会議員
委員	遠藤 潤	植物生態学専攻、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ事務局員
委員	合田 克己	登別アイヌ協会会長
委員	関 秀志	北海道史研究協議会副会長、元北海道開拓記念館学芸部長
委員	瀧内 智子	朗読ボランティアの会会長、元小中学校教諭
委員	内藤 繁	登別市社会福祉協議会常務理事
委員	鳴海 文昭	登別市連合町内会事務局長
委員	藤崎 信雄	登別観光協会副会長、登別市交通安全指導員会会長
委員	吉野 幸広	登別市郷土資料館館長

◎資料に関する情報提供のお願い

市史編さん担当では、現在、昔の登別を知る手掛かりとなる資料について情報を集めています。

お祭りやまちの様子を写した写真や映像、当時の日記など、お心あたりのある方はご連絡ください。

(連絡先)

登別市総務部総務グループ市史編さん担当 千葉・更科・玉田

電話：0143-85-1130 FAX：0143-85-1108